



上智大学VIシステム

私たちは、教育・研究活動や課外活動などの様々な場面で、上智大学を視覚的に象徴する様々なデザイン物を使用しています。それらのデザイン物を通じて主張する”上智大学らしさ”は、即ちビジュアル・アイデンティティ(Visual Identity = VI)と呼ばれ、次を視覚的に象徴するものです。

- ◇ 特に「校章」などは、私たちの志(建学以来の精神や教育理念など)や存在意義
- ◇ 学生や卒業生、教職員など上智に係わる人々の間で、愛校心や誇りといった上智に対する想い
- ◇ 学外に向けては、“上智大学であること”の誇らしい主張

このようなVIの役割を考えたとき、次を進めてゆくことが大切です。

- ◇ 上智大学からのメッセージを発信するすべての関係者が、まずVIの“原則”や“考え方”を理解・共有すること
- ◇ その上で、それぞれが制作する様々なデザイン物において“ワン・ボイス”、即ち細部に至るまで一貫性と継続性を高めながら上智のVIを展開してゆくこと

VIは、次の二つを組み合わせたシステムとして運用してゆきます。

- ◇ 使用する者、その目的や場面によって使い分けてゆく様々な「デザイン要素」
- ◇ 正確かつ高品質なデザイン作業に向けたデザイン・ルール(“攻め”の観点)と、例えば上智の名声を傷つけかねないといった不適切な使用を回避するための運用ルール(“守り”の観点)を組み合わせた「VIマネジメント」

ここでは、その「デザイン要素」の要点を説明します。

「デザイン要素」に関するより詳しい情報、もしくは実際の使用に当たっての手続きを含む「VIマネジメント」については、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先

上智学院 総務局 広報グループ

電話 : 03-3238-3179 mail : sophiapr-co@sophia.ac.jp

I. VIを支える主要なデザイン要素

「上智大学VIシステム」を支える主なデザイン要素は、次の通りです。

私たちは、使用者とその目的・場面に応じて、それらを適切に展開してゆきます。

校章



◇ 上智学院および上智大学、ならびにそれらが設置する各種機関を象徴する正式かつ唯一の図形です。

◇ 私たちの“志”、伝統、格式などを視覚的に象徴するものであり、100年の努力の成果が蓄積された“かけがえのない”ものです。その価値を守り、高めてゆくために、使用を限定しながら、慎重に展開してゆきます。

校章と校名の由来

校章の鷲は真理の光を目ざして力強くはばたく鷲をかたどったもので、その姿は上智大学の本質と理想とを表わしています。

中央に示された文字は、本学の標語「真理の光」Lux Veritatisの頭文字です。

上智大学は、海外では早くからソフィア・ユニバーシティの名で親しまれてきましたが、このソフィアはギリシャ語のΣΟΦΙΑからとったものであり、それは「人を望ましい人間へと高める最上の叡智」を意味します。この叡智こそ本学が学生に与えようとする究極のものであり、本学の名称“上智”(SOPHIA)にほかなりません。

コミュニケーションマーク



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

◇ 公式書類、名刺や封筒、パンフレットや広告、ホームページなどの様々な視覚媒体において、上智大学を象徴するロゴ(デザイン化された文字列)です。

◇ 「校章」を限定的に展開する一方で、「コミュニケーションマーク」は、印刷物やホームページを含む様々な視覚媒体において、上智大学を象徴するロゴとして積極的に使用してゆきます。

「コミュニケーションマーク」には、「校章」の一部である鷲、「上智=Sophia/ソフィア」を主張する校名の表示などが含まれています。私たちは、これらの要素をセットで、学内外に積極的に訴求してゆきます。

タグライン

叡智が世界をつなぐ

Sophia – Bringing the World Together

- ◇ 各種の視覚的コミュニケーション・アイテムにおいて、上智大学の“志”や、ビジョン(めざすところ)を一言で言い表すロゴです。
- ◇ パンフレット、ポスター、名刺や封筒、公式サイトなどのコミュニケーション・アイテムにおいて、言葉の通り、「コミュニケーションマーク」に“tag(紐付け)”して、展開してゆくことを基本とします。

タグラインを本文中で使用する場合

ロゴ(デザイン化された文字列)ではなく、本文中に使用する場合は、『叡智が世界をつなぐ』の日本語表示について(2013年5月13日。総務・経営企画グループからソフィア掲示板に掲出)の次の規定に従ってください。

ソフィア

日本語: 叡智が世界をつなぐ 又は 叡智(ソフィア)が世界をつなぐ

英語: Sophia – Bringing the World Together

注) 英語で“Sophia”と”Bringing”の間のハイフンは、“M-dash”と呼ばれる長いハイフンです。

エンブレム



- ◇ 「校章」や「コミュニケーション マーク」は、上智大学の視覚的象徴として、その使用には慎重な制限が加えられます。対して、「エンブレム」は、学内のもっと幅広い人たちに、もっと幅広い場面で使用していただき、学内外で上智大学の存在感を高めてゆくデザインツールとして運用してゆきます。
- ◇ 文字通りエンブレムとして使用することに加え、“地模様”として使用することができます。

「SEDES SAPIENTIAE」は、「上智の座」を意味するラテン語であり、聖母マリアに対する呼びかけの言葉です。ラテン語は全体として、「上智の座の大学」を意味しますが、これは上智と世界のカトリック系大学とのつながりを示しています。

スクールカラー



◇ 上智大学であること、もしくは上智大学からのメッセージであることを伝えたい様々なメディアにおいて、そのことを積極的・主張的に訴求するためのデザインツールと位置づけます。

◇ サブカラーと組み合わせた波形を基本として展開してゆきます。



Compassionate Claret (コンパッションネイトクラレット)

上智大学は、創立以来100年、キリスト教ヒューマニズムに基づき、叡智とグローバルな視点を備えた若者を育て続けてきました。そこに連綿と流れる私たちの想いを象徴するカラーが、Compassionate Claretです。

この呼称は、上智大学が追求するヒューマニズム、学問、社会への貢献などの基底をなすCompassion(他者への思いやり、慈悲)と、ポルドーで産出される赤ワインの代名詞としても使われるClaret(エンジの中でも特に深みのある色合い)から発想した造語です。



Wisdom Fruit (ウイズダム フルーツ)

教育を通して若者に知識を授け、さらには世界をつなぐ叡智に導く。上智大学は、次の100年を展望しながら、この使命をいっそう進化させてゆきます。私たちのこの決意をいきいきと象徴するカラーがWisdom Fruitです。

この呼称は、人が偉大な叡智を身につけ、それを他者と共有してゆくことを例える「the fruit of wisdom(知恵の実)」から発想した造語です。私たちは、Wisdom Fruitは、より多くの人々とより深く共有することで、その甘みと美味が増すものであると考えています。



Wave of the Future (ウェーブ オブ ザ フューチャー)

創立以来一貫して守り続けてきた志と信念に導かれながら、私たちは今、しなやかに、そして誠実に未来に向けた歩みを始めます。

Wave of the Futureは、上智大学のこれまでの100年とこれからの100年を象徴する二つのカラーを躍動感と力強さをもって組み合わせ、そのような私たちの姿と叡智で世界をつなげてゆくという私たちの意志を表現しています。

なお、ウェーブの形は、Sophiaの「S」も連想させるようデザインしています。

今後、様々なアイテムの製作において、VIシステムを積極的にご活用ください。

なお、「校章」、「コミュニケーション マーク」、「エンブレム」、「Wave of the Future」などのVI要素の使用に当たっては、①上智学院総務局長の使用許可を受けた後、②「ビジュアル アイデンティティ ガイドラインー上智大学編」の規定を遵守してデザインを開発してください。

次を含む様々なアイテムでVI要素の使用をご検討の場合、上智学院 総務局 広報グループまでお問い合わせください。(広報グループで開発済みのアイテムは、デザインデータの提供も可能です。)

- ◇ 名刺、封筒、レターヘッド、パワーポイントのテンプレートなど
- ◇ 上智大学、学部を含む各種機関が発信元となるパンフレット、ポスター、チラシ、Webサイト、広告表現、など
- ◇ その他(例えば、鷲をモチーフにしたマスコットキャラクター、学生団体のユニフォームや部旗、「エンブレム」を落とし込んだグッズ類など)